

子どもへの食材配付事業

事業目的

要支援家庭等に対して子どもサポーター※を派遣し、食材配付から調理までの食事支援を行うことで、対象家庭の状況把握をするとともに必要な支援につなげ、養育環境の改善を図ることを目的とする。

※令和2年度から開始した子どもサポーターは、子ども家庭支援センターの養成講座を受講後、要支援家庭等の子どもを支援する有償ボランティアです。

事業概要

子どもサポーターを対象家庭に派遣し、食材や調理済みの食品を配付する等の食事支援を行う。



【対象】

子ども家庭支援センターが把握している 0 歳から 18 歳までの児童を養育する要保護・要支援家庭等

【費用】

無料

【利用回数】

年間48回以内(週1回程度)



【支援内容】

- 子どもサポーターによる食材もしくは調理済みの食品を配付
- 食材等を配付する際に、対象家庭とコミュニケーションを取ることで、家庭状況を把握し、必要な支援につなげていく

活動例：・子どもサポーターと一緒に提供した食品を盛り付けたり、ご飯を炊いたり、卵焼きや、レトルト食品を温める等の簡単な調理を行う。
・パンケーキなど子どもが作りたいものを決め、一緒に食材を買いに行き、調理や装飾をする。

事業の流れ

子ども家庭支援センター

▼ 利用の働きかけ

▲ 対象家庭の把握・情報共有

対象家庭

関係機関

▼ 申込み

子ども家庭支援センター

▼ 利用の判断。支援計画の検討
サポーターのマッチング・派遣依頼

子どもサポーター

▼ 事前訪問(顔合わせ)、支援内容の確認。



対象家庭へ食材等提供

対象家庭の把握

子ども家庭支援センターが対象家庭に利用の働きかけ
関係機関は、心配な家庭の把握・子ども家庭支援センターと情報共有

利用判断

訪問・面談等により家庭状況の確認
利用の判断、支援計画の検討
関係機関と情報共有

マッチング

子どもサポーターとのマッチング
顔合わせのための事前訪問
支援内容の確認

支援開始

支援計画に基づき子どもサポーターを派遣、食材提供、対象家庭の状況把握
関係機関と情報共有、適宜必要な支援へつなぐ

本事業は、主に子ども家庭支援センターで関わっている家庭を対象に、特に養育環境に困難を抱えている家庭を中心としたものです。子ども自身の力を伸ばしていき、生き抜く力を身に付け、自立できるように支援していきます。